



学校だより No. 10

日々新たに

尾崎市立日新中学校

令和2年1月30日発行

自助・共助の大切さ

今月17日は、25年目となる「阪神淡路大震災」の震災記念日でした。1995年1月17日、午前5時46分に、最大震度7、マグニチュード7.3の「兵庫県南部地震」が発生し、この震災により6,434人の尊い命が失われました。本校では、震災記念日に半旗を掲揚し、亡くなられた方々へ全校生と職員で黙祷を捧げ、今後予測される地震災害に備えて防災避難訓練を実施しました。

日本は「地震大国」と言われ、非常に地震が多い国です。令和2年になって早々、千葉県、茨城県、沖縄県で、それぞれ震度4の地震が発生しています。昨年1年間で、震度3以上の地震が、日本全国で159回発生し、震度1以上の有感地震の回数は、年間2,000回を超えたのだそうです。

私たちが住んでいるこの地域で今後起こるだろう巨大地震が、「南海トラフ地震」です。この地震は、M8～9の巨大地震で、太平洋の海底で発生する地震です。海底が大きく揺れるので、2011年に起きた「東日本大震災」の時のように、大きな津波が押し寄せてくると考えられています。

「東日本大震災」の時は、高さ10mを越える巨大津波が、東北地方と関東地方の太平洋沿岸に押し寄せ、1万5,896人の方が亡くなりました。もし、私たちの住んでいる地域で「南海トラフ地震」が起きたら、揺れと津波による被害で「阪神淡路大震災」以上の大災害になるだろうと言われています。私たちはこの地震が起こる前に、しっかり「防災」について考え、準備をしておく必要があります。

「防災」を考える上で、とても大切なのが「自助」「共助」「公助」というものです。「自助」というのは、「自分の身を、自分の努力によって守る」こと、「共助」というのは、「身近な人たちが、お互いに助け合う」こと、そして「公助」というのは、「役所や自衛隊、消防署、警察署などによる救助活動や支援活動」のことを言います。

人の命を守るために「自助」、「共助」、「公助」のどれが、一番有効かを考えた場合、大がかりな自衛隊や消防署、警察署の救助活動である「公助」と言いたいところですが、残念ながら、大規模災害の直後では、「公助」だけでは被災者一人一人への対応ができずほとんど無力だといえます。

地震による犠牲者は、地震発生直後の「建物の倒壊」や「家具の転倒」によるものがほとんどです。また、地震発生後には、短時間で巨大な津波がおそってきます。地震直後の災害から身を守るためには、自ら命を守る「自助」と、近隣の人々が助け合う「共助」が極めて重要になってくるのです。

私たちは、まず「自助」である、「自分の命は自分で守る」という防災意識をしっかり持つことが大切です。そのためにも、日頃から「緊急避難グッズ」や「非常食」を準備したり、「家具の転倒防止対策」を施したりするなど、事前の備えをすることが重要です。

そして、「共助」を行うために、自分の家族だけでなく、町内会や自治会などの小さな地域コミュニティで助け合える体制をつくる必要があります。そのために、身近な「ボランティア活動」に参加したり、普段から「地域の活動や行事」に参加したりして、地域の方々とつながりをもつことがとても役立ちます。

これからも学校として、子ども達の「自助」につながる「防災意識」を高め、「共助」の大切さを実感できる「防災教育」や「人権・道徳教育」等を推進していきたいと考えています。

校長 宮田 聡

3 年生 薬物乱用防止講演会

1月10日、学校薬剤師の竹尾亜美先生を講師に迎え、体育館で3年生を対象に、「薬物乱用防止講演会」を開催しました。

危険薬物について、その種類や巧みな販売方法、そして、体に及ぼす害や依存性について、わかりやすく説明していただき、その他、スポーツ界でのドーピングの話やコーヒーや栄養ドリンク等に含まれるカフェインの摂取の注意点も



「非行防止ポスター」

作：3年 山本果未

お話いただきました。

生徒は、講演後の感想に「危険ドラッグが身近に潜んでいること、薬物は自分の人生だけでなく、周囲の人の人生も狂わせてしまうことがわかりました」と書いていました。

防災避難訓練



1月17日、阪神淡路大震災の震災記念日の日、防災避難訓練を実施しました。今回は、雨天時の避難を想定し、最初に全校生徒が体育館へ避難しました。

体育館では、震災で亡くなられた方々に、哀悼の意を込めて黙祷をささげた後、校長先生の講話と「南海トラフ地震」が起きた時の対応についてのDVDを鑑賞して、防災学習を行いました。

その後引き続き「津波警報」が出た場合の「垂直避難訓練」を実施し、全生徒が北校舎3階に避難しました。今回、生徒達は、真剣に整然と避難できましたが、地震の発生時にも、落ち着いて、命を守る行動をとってほしいと思います。



2月の主な予定



月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 生徒朝礼	4	5 (補充金5)	6	7 3年私学入試事前指導(放課後)	8	9
10 私学入試	11 《建国記念の日》 私学入試	12 チャイム着席週間 職員会議(5校時まで)	13 チャイム着席週間	14 チャイム着席週間 生徒会専門委員会	15	16
17 チャイム着席週間 公立推薦・特色・多部制 I期入試	18 チャイム着席週間 食育デー	19 1,2年学年末 テスト(国,美,保体) 3年授業(4校時まで)	20 学年末テスト 1,2年(理,数,音) 3年(理,数,音,美)	21 学年末テスト 1年(社,英,家) 2年(社,英) 3年(社,英,国)	22 公立推薦・ 特色・多部制I期 合格発表	23 《天皇誕生日》
24 《振替休日》	25 特別支援学校入試	26 (水5234,道)5hまで 生徒会新入生説明会 クラブ見学会	27	28 3年生卒業式練習 開始(6h)	29 特別支援学級 卒業生を送る会	

＜3月の主な予定＞ 3/6(金)：卒業式予行 3/9(月)：卒業式準備 3/10(火)：卒業式 3/12(木)：公立学力検査
3/13(金)：総合学科実技検査 3/18(水)・19(木)：希望者懇談 3/18(水)：2年球技大会 3/19(木)：1年球技大会
3/19(木)：公立合格発表 3/24(火)：大掃除 3/25(水)：修了式 3/27(木)：定時制再募集学力検査

☆ 頑張る日新中生！ ☆



●阪神地区技術・家庭科研究大会(全国大会) 優秀賞
1-2 谷内 菜桜 1-4 上原 徳道 3-1 石野 星奈
3-1 山本 真緒 3-2 井上 咲 3-4 植木 春花

●第87回全国書画展覧会

特選 3-3 川合 こはる	特選 1-3 小山 裕理奈
金賞 3-3 久保 尋斗	金賞 2-3 大田本 果純
金賞 1-2 谷内 菜桜	銀賞 3-1 中元 歩希
銀賞 3-2 川下 元気	銀賞 2-4 松田 駿佑
銀賞 2-4 八十原 雅春	銀賞 1-3 犬石 亜希
銀賞 1-3 鶴殿 紗来	銀賞 1-4 小泉 花鈴
銀賞 1-4 山添 咲季	銅賞 2-2 新谷 駆琉
銅賞 2-3 立切 晴喜	銅賞 2-3 松下 大地

●第92回兵庫県小・中・高校絵画展

入選 3-4 山本 果未 画題「花とパプリカ」

2年生性教育講演会



1月24日、市内産婦人科病院「ウィメンズクリニック横田」院長の横田光先生にお越しいただき、2年生を対象に「性教育講演会」を開催しました。

講演では、男女の「二次性徴」の違いや「妊娠・出産」、「望まない妊娠を避ける方法」や「性感染症を防ぐ方法」等について、詳しく説明してもらいました。

この他、「性的少数者」の性の多様性や「ネットの裏側」や「性暴力・DV」の危険性についても、わかりやすくお話いただきました。

生徒達は、今回の講演を通して、自分も危険に巻き込まれる可能性のあること、正しい知識があればそれを避けられること、そして、それが、自分で自分を危険から守り、他の人を助けることにもつながることを学ぶことができました。



◎ 学校アンケート結果 ◎

本年度の学校教育活動について、生徒および保護者、地域住民の皆様に、アンケート調査を実施しました。アンケートにご協力いただきました保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。このアンケートの結果を参考に学校評価を実施し、来年度の学校運営に生かしたいと思いをします。

【 生徒アンケート結果 】 回答者数＝437名

1:よく当てはまる 2:だいたい当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:当てはまらない

	1	2	3	4
1 進んで授業に取り組んでいる。	31%	55%	12%	2%
2 進んで家庭学習に取り組んでいる。	11%	43%	33%	13%
3 ノートの取り方など、勉強のやり方を工夫している。	20%	44%	31%	6%
4 授業が理解できている。	21%	52%	22%	5%
5 先生たちは、わかりやすい授業になるよう工夫している。	29%	55%	12%	4%
6 学校やクラスは、学習しやすい環境(教室や設備)になっている。	17%	47%	28%	8%
7 先生たちは、テストの点数だけでなく様々な方法で学習の評価を行っている。	32%	56%	10%	2%
8 少人数授業(1年英語、3年数学)は、わかりやすいと思う。(1,3年生)	43%	41%	12%	3%
9 自分のクラスは安心して生活でき、落ち着いて学習に取り組める雰囲気である。	17%	44%	29%	9%
10 学校生活の中で、命の大切さや人権などについて学ぶことができている。	30%	50%	16%	4%
11 道徳の授業は、自分の生活や人生のためになる。	30%	50%	14%	6%
12 自分から進んであいさつをしている。	38%	45%	12%	4%
13 学校のきまりや社会のルールを守っている。	42%	47%	10%	1%
14 計画的に学習や活動に取り組んでいる。	18%	49%	25%	9%
15 困った時は、先生に相談する。	17%	32%	36%	16%
16 担任の先生以外にも、相談できる先生がいる。	23%	35%	24%	18%
17 日新中学校に、スクールカウンセラーがいることを知っている。	61%	26%	8%	6%
18 卒業後の進路や将来の職業について、よく考えている。	31%	36%	24%	8%
19 トライやる・ウィークでの経験は、将来の生き方を考えるのに役立っている。(2,3年生)	46%	41%	9%	4%
20 進路についての情報や指導は、分かりやすい。	20%	49%	25%	6%
21 栄養のバランスを意識して、食事をしている。	27%	48%	19%	6%
22 保健体育の授業や部活動を通して、体力や運動能力が高まっている。	43%	37%	14%	7%
23 交通ルールやマナーを守り、安全に登下校をしている。	61%	34%	4%	1%
24 地震や火災・水害などの災害発生時に、自分の身を守る方法を知っている。	35%	53%	9%	2%
25 家庭で携帯電話やスマートフォン(メール、ライン等)・インターネットなどを使用する上でのルールがある。	32%	33%	20%	15%
26 携帯電話やスマートフォン(メール、ライン等)・インターネットなどで、トラブルになった経験がある。	9%	12%	14%	66%
27 日新中学校の校訓を意識して生活をしている。	16%	36%	33%	15%

◆ 生徒アンケートから ◆

[2]: 生徒の54%が進んで家庭学習に取り組んでいます。まだ十分高い割合ではありませんが、昨年度より5%上昇し、2年連続の上昇です。

[5]: 生徒の84%が、先生がわかりやすい授業になるように工夫している、また、[7]: 生徒の88%が、先生がテストの点数だけでなく様々な方法で評価をしていると感じています。さらに、[8]: 生徒の84%が、1年と3年生の少人数授業(新学習システム)がわかりやすいと感じています。

[9]: 生徒の61%がクラスは安心して生活し、落ち着いて学習できる雰囲気があると感じています。まだ十分高い割合ではありませんが、昨年度より9%上昇し、2年連続の上昇です。

[14]: 生徒の67%が、計画的に学習に取り組んでいます。まだ十分高い割合ではありませんが、昨年度より6%の上昇で、2年連続の上昇です。

[15]: 生徒の49%が、困ったとき先生に相談する、[16]: 生徒の58%が、担任の先生以外に相談できる先生がいると答えています。まだ十分高い割合ではありませんが、昨年度より、それぞれ11%、12%の上昇です。

[17]: 生徒の87%が、スクールカウンセラーを認知しています。これは、昨年度より28%の上昇です。

[21]: 生徒の75%が、栄養バランスを意識した食事をしています。昨年度より7%上昇し、2年連続の上昇です。

[24]: 生徒の88%が、地震等の災害時、自分の身を守る方法を知っていると答えています。昨年度より6%上昇し、2年連続の上昇です。

[27]: 生徒の52%が、校訓を意識して生活しています。まだ十分高い割合ではありませんが、2年連続で3%ずつ上昇しています。

今後も、授業改善や評価方法の工夫に取り組み、生徒との信頼関係を基盤とし、安心して積極的に学ぶことができる学習環境づくりに努めてまいります。

【保護者アンケート結果】 回答者数＝341名

1:よく当てはまる 2:だいたい当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:当てはまらない

	1	2	3	4
1 学校からの配布物には、必ず目を通している。	34%	51%	12%	3%
2 お子さんは、家庭等で進んで学習に取り組んでいる。	15%	34%	37%	14%
3 お子さんは、読書に親しんでいる。	8%	19%	36%	37%
4 家庭で携帯電話やスマートフォン(メール、ライン等)・インターネットを使用する上でのルールがある。	26%	43%	25%	6%
5 日新中学校の教員は、授業の工夫・改善を行っている。	4%	62%	27%	7%
6 日新中学校の教員は、テストの点数だけでなく様々な方法で学習の評価を行っている。	10%	64%	22%	4%
7 日新中学校は、命の大切さや人権などについて指導している。	10%	64%	22%	4%
8 日新中学校は、お子さんが学校のきまりや社会のルールを守れるように指導している。	15%	69%	14%	2%
9 日新中学校は、友達を大切にし、いじめなどを許さないクラス・学校づくりに努めている。	11%	65%	20%	4%
10 日新中学校の教員は、お子さんのことについて相談しやすい。	14%	56%	23%	7%
11 スクールカウンセラーに、保護者も相談できることを知っている。	43%	30%	12%	14%
12 進路についての情報や指導は、分かりやすい。	9%	48%	31%	12%
13 日新中学校は、食育を通して健康を重視する指導を進めている。	4%	40%	46%	9%
14 日新中学校は、保健体育の授業や部活動を通して体力と健康の向上に努めている。	13%	64%	20%	3%
15 日新中学校は、安全教育に取り組むと共に、登下校および校内の安全確保を図っている。	10%	65%	20%	5%
16 日新中学校は、防災教育の充実に取り組んでいる。	6%	62%	27%	4%
17 日新中学校は、情報通信機器(スマホや携帯など)を使う上でのリスク(危険・危機)について指導している。	12%	68%	16%	4%
18 日新中学校は、教職員の資質・指導力の向上に努めている。	5%	59%	28%	8%
19 日新中学校は、いじめなどの問題行動に対して素早く組織的に動いて解決を図っている。	8%	53%	31%	8%
20 日新中学校は、地域の人材や施設を活用したり、PTAや関係機関と連携し、開かれた学校づくりを図っている。	10%	62%	23%	5%
21 日新中学校は、保護者の期待や願いに応えている。	7%	57%	25%	11%

◆ 保護者アンケートから ◆

[7]: 保護者の74%が、学校は命の大切さや人権について指導している、[9]: 保護者の76%が、学校はいじめを許さないクラス・学校づくりをしていると感じています。どちらも昨年度より12%の上昇です。

[10]: 保護者の70%が、教員は相談しやすいと感じています。これは、昨年度より5%の上昇です。

[11]: 保護者の74%が、スクールカウンセラーを認知しています。これは、昨年度より10%の上昇です。

[15]: 保護者の75%が、学校が安全教育に取り組み、登下校の安全確保に努めていると回答しています。これは、昨年度より6%の上昇です。

[19]: 保護者の62%が、学校がいじめ等の問題に早急に組織的に取り組んでいると回答しています。まだ十分高い割合ではありませんが、昨年度より6%の上昇です。

今後も、課題の見られる「生徒の読書離れ」や「食育の推進」、「進路指導の充実」に対しても、改善が図れるよう全教職員で取り組んでまいります。また、自由記述により、本校の「学校運営」や「学習指導」、「生徒指導」、「部活動指導」等について、大変貴重なご意見をいただきました。それらのご意見や励ましを、今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

【地域アンケート結果】 回答者数＝206名

1:よく当てはまる 2:だいたい当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:当てはまらない 5:わからない

	1	2	3	4	5
1 日新中学校は、地域の方々に丁寧に対応している。	28%	40%	10%	3%	20%
2 日新中学校の生徒は、地域の行事に積極的に参加している。	8%	32%	22%	7%	32%
3 日新中学校の生徒は、地域で進んであいさつしている。	12%	31%	27%	16%	15%
4 日新中学校の生徒の頭髪や服装は、きちんとしている。	24%	59%	7%	1%	10%
5 日新中学校の生徒は、交通ルールやマナーを守り、安全に登下校している。	20%	52%	15%	2%	11%
6 地域の方々に日新中学校の学校行事への案内などが届いている。	38%	33%	11%	4%	15%
7 日新中学校のオープンスクールや体育大会、文化活動発表会などの行事に参加したことがある。	18%	23%	14%	29%	16%
8 日新中学校の施設が地域に開放されていることを知っている。	23%	21%	11%	15%	30%
9 日新中学校は、学校便りやホームページ等で学校の様子・情報を積極的に知らせている。	40%	25%	11%	3%	21%

◆ 地域アンケートから ◆

[4]: 地域の83%の方が、生徒の頭髪や服装が整っている、[5]: 地域の72%の方が、生徒が交通ルールやマナーを守っていると感じています。また、[6]: 地域の71%の方が、学校からの行事の案内が届いていると答えています。

一方、[3]: 地域の43%の方が、生徒が進んであいさつできていないと感じ、[7]: 地域の43%の方が、オープンスクールや体育大会等の学校行事に参加したことがないと答えています。

今後、生徒が、地域の方々にも、進んで気持ちのいいあいさつができるように、あいさつ運動を拡大し、推進してまいります。また、多くの地域の方々に、学校に足を運んでいただけるように、行事等の案内に工夫を凝らしていきたいと考えています。今後とも、地域の皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。